

関西学院大学全学統一試験 2026 年度（英語正解）

I	化学の実験・プラセボ効果	III	ヒューマノイドロボット
A	空所補充	B	内容説明
	(1)		ア a
	(2)		イ b
	(3)		ウ c
	(4)		
	(5)	C	内容理解
B	下線部語句		i c
	ア a		ii d
	イ b		
	ウ b	IV	文法問題
	エ d		1 b
	オ d		2 d
	カ b		3 c
C	内容一致		4 b
	i c		5 d
	ii d		6 c
	iii c		7 c
			8 c
			9 a
II	感染症と抗菌薬		10 b
A	空所補充		
	(1) a	V	整序問題 2番目 6番目
	(2) c		(1) h c
	(3) a		(2) g a
	(4) d		(3) e d
	(5) c		(4) c e
			(5) b h
B	下線部語句		
	ア a	VI	会話問題
	イ c		1 b
	ウ d		2 c
			3 d
C	内容真偽（2つ）		4 a
	d		5 c
	f		6 c
III	ヒューマノイドロボット		7 b
A	言い換え		8 d
	(1) c		9 b
	(2) a		10 a
	(3) b		
	(4) a		

関西学院大学の全学統一試験（英語）の読解および文法・会話問題について、模範解答と解説を作成しました。論理的読解力、語彙の正確な運用、そして文脈把握能力を問う非常にバランスの良い内容です。

[I] 読解：魚油サプリメントの治験とホーソン効果

この文章は、適切な「対照群」のない実験がいかに無意味であるか、そして人間が「注目されている」と感じるだけでパフォーマンスが向上する「ホーソン効果」について解説しています。

A. 空所補充

(1) **b. the other**

- **考え方:** divide a group in half（グループを半分に分ける）と言及されているため、一方が one group なら、残る一方は特定のもう一方を指す the other になります。

(2) **d. be subject to**

- **考え方:** 子供たちが「プラセボ効果」の**影響を受ける**、あるいはその対象になるという意味で be subject to が適切です。

(3) **c. so**

- **考え方:** 「子供たちも改善を期待するし、親や教師も**同様である**」という肯定の倒置表現 so will their parents... を作ります。

(4) **a. plant**

- **考え方:** 直前の文に factory（工場）とあり、その場所を指しているため、「工場・施設」を意味する plant が正解です。

(5) **c. increased**

- **考え方:** ホーソン効果の核心です。「何をやっても（照明を明るくしても暗くしても）生産性は**向上した**」という文脈に合わせます。

B. 下線部解釈

(ア) **a. available to you**（自由に使える）

(イ) **b. gradually**（時間が経つにつれて＝徐々に）

(ウ) **b. a group of people who believe in medical treatments which lack proof**

（根拠のない治療を信じる人々）

(エ) **d. should be banned from raising children**

（子育てを禁止されるべき＝許可を持つべきではない）

(オ) **d. in charge of the panel**（委員会の議長を務める＝責任者である）

(カ) **b. the people who look after you**（世話をしてくれる人々）

C. 内容一致

(i) **c.** どんな錠剤を飲んでもパフォーマンス向上につながる可能性がある（プラセボ効果の説明に合致）。

(ii) **d.** 人は単に観察されたり研究されたりすることでパフォーマンスが向上する。

(iii) **c.** 労働者が特別な調査の一部だと言われると、生産性が向上する。

[II] 読解：感染症と抗菌薬の課題

感染症の歴史と、現代における薬剤耐性菌の問題、および治療の難しさ（人間と病原体の共通性）を論じています。

A. 空所補充

- (1) **a. at** (at least: 少なくとも)
- (2) **c. on** (impact on ~: ~への影響)
- (3) **a. but** (not only ... but also ...: ~だけでなく~も)
- (4) **d. with** (interfering with ~: ~を妨害する)
- (5) **c. infecting** (the cells... they are infecting: 彼らが感染している細胞)

B. 下線部解釈

- (ア) **a. called** (～と呼ばれている)
- (イ) **c. controlling infection has reached a critical stage...** (重大な局面＝岐路にある)
- (ウ) **d. makes it harder to find effective treatments** (治療の機会を制限する＝困難にする)

C. 内容一致 (2つ選択)

- d.** 感染症は、以前は有効だった薬に対して耐性を獲得しつつある。
- f.** 病気をもたらす微小な生物は、人間と生命の構成要素を共有しているため、殺すのが難しい。

[III] 読解：ヒューマノイドとアンドロイド

ヒューマノイド（人間型）ロボットの定義と、外見に知能が追いついていない現状を説明しています。

A. 下線部言い換え

- (1) **c. regardless of fiction** (フィクションはさておき＝関係なく)
- (2) **a. Therefore** (したがって)
- (3) **b. take off** (剥ぎ取る)
- (4) **a. perspective** (観点)

B. 内容解釈

- (ア) **a. Some people are very interested in humanoid robots.** (特別な魅了＝強い興味)
- (イ) **b. The humanoid robots made of plastics resemble animation characters...**
(アニメの登場人物のように見える)
- (ウ) **c. The difference between robot intelligence technology and robot mechatronics is clearly evident...** (知能と技術のギャップが顕著である)

C. 内容一致・不一致

- (i) **c.** ヒューマノイドと認識されるには、部品の詳細よりも形状が重要である。
- (ii) **d.** (不適切なものを選ぶ) 人間が人間に似たロボットを見たとき、人間のように振る舞うと期待するのは自然なことである (本文では reasonably expect とあり、選択肢 d の do not necessarily expect は矛盾する) 。
-

[IV] 文法・語法

1. **b. rains** (時・条件を表す副詞節内では未来のことも現在形)
 2. **d. has been closed (for the last five years** という期間があるため現在完了)
 3. **c. to write with** (ペン「で」書くための道具なので with が必要)
 4. **b. brought up** (「育てられた」子供という過去分詞の後置修飾)
 5. **d. where** (France を先行詞とする関係副詞)
 6. **c. No, not at all** (Do you mind...? 「気にしますか?」への「いいですよ」という返答)
 7. **c. or** (命令文, or ... 「～しなさい、さもないと～」)
 8. **c. interesting** (映画が「面白い」という性質を表す)
 9. **a. getting** (get along with: ～とうまくやっていく)
 10. **b. prevented** (prevent A from B: A が B するのを妨げる)
-

[V] 整序英作文

並べ替えた後の 2 番目と 6 番目を抽出します。

1. Tim (**d. kept**) (**h. silent**) (**g. for**) (**a. fear**) (**e. of**) (**c. offending**) (**f. anyone**)
○ 2 番目: **h** / 6 番目: **c**
 2. ... (**c. apologizing**) (**g. for**) (**f. what**) (**e. I**) (**h. said**) (**a. during**) (**b. the**) (**d. argument**)
○ 2 番目: **g** / 6 番目: **a**
 3. (**f. had**) (**e. it**) (**h. not**) (**a. been**) (**b. for**) (**d. the map**) (**c. Ken**) (**g. gave**)
○ 2 番目: **e** / 6 番目: **d**
 4. (**g. lack**) (**c. of**) (**b. regular**) (**f. exercise**) (**d. might**) (**e. result**) (**h. in**) (**a. weight gain**)
○ 2 番目: **c** / 6 番目: **e**
 5. (**g. what**) (**b. color**) (**f. pen**) (**d. did**) (**a. the teacher**) (**h. say**) (**c. we**) (**e. should**)
○ 2 番目: **b** / 6 番目: **h**
-

[VI] 会話文

- (1) **b. against** (世界中が私に反対している・敵対している)
 - (2) **c. crowded** (混んでいた: 後に続く「みんな邪魔」「列が長い」から推測)
 - (3) **d. getting off** (仕事を終える: getting off work)
 - (4) **a. once in a while** (時々、たまには)
 - (5) **c. How do you balance your life?** (どうやって生活のバランスをとるか?)
 - (6) **c. keep to** (スケジュールを守る)
 - (7) **b. met** (締め切りを守った: meet the deadline)
 - (8) **d. at a time** (一度に一つずつ: one step at a time)
 - (9) **b. overwhelmed** (圧倒される、パンクする)
 - (10) **a. Planning** (計画を立てること)
-

Q: 読解の「感染症と抗菌薬」の英文の設問 A(5)の答えが infecting か infected かで迷いました。詳しく教えてくださいませんか？

A: 試験当日、受験生の間で意見が分かれる非常に悩ましいポイントですね。結論から申し上げますと、正解は **c. infecting** です。

なぜ受動態の infected ではなく、現在分詞(進行形的なニュアンス)の infecting が適切なのか、文法構造と意味上の関係から詳しく解説します。

該当箇所の文脈確認

問題の箇所は、抗菌薬(Antimicrobials)が人間や動物の細胞にダメージを与えず、病原体だけを攻撃することの難しさを説明している一節です。

"...but not with the cells of the human (or animal, fish, insect, plant, etc.) **that** they are (5)."

1. 意味上の主語を特定する

この文の that は関係代名詞であり、直前の they が何を指しているのかを特定することが最優先です。

- この they は、直前の文に登場する **tiny organisms** (病気をもたらす微小な生物＝細菌やウイルスなど) を指しています。
- つまり、この部分は「それら(病原体)が(5)している(人間や動物などの)細胞」という構造になります。

2. 能動か受動かの判断

ここで「病原体(they)」と「感染(infect)」の関係を考えます。

- 能動(infecting)の場合: **They (the organisms) are infecting the cells.** (それらの病原体が細胞に感染している。)
- 受動(infected)の場合: **They (the organisms) are infected.** (それらの病原体自体が(何かに)感染させられている。)

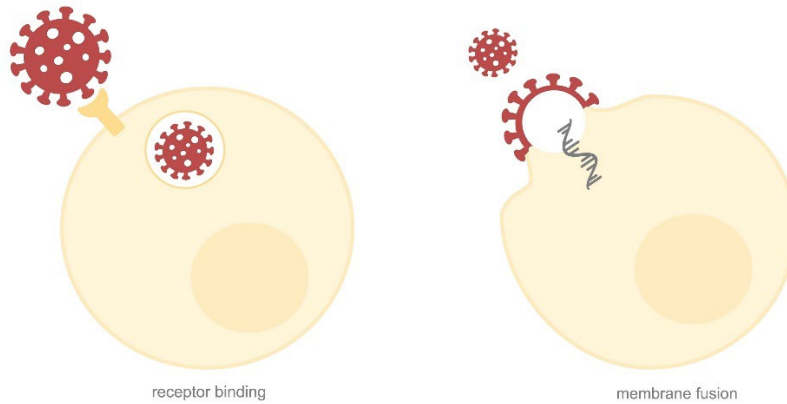
文脈上、攻撃側は病原体であり、彼らが人間や動物の細胞に「感染している」状態を指しているため、能動の形をとる現在分詞(進行形)の **infecting** が正解となります。

3. 受験生が迷う理由(落とし穴)

多くの方が infected と迷うのは、「感染した細胞(infected cells)」という言い回しが非常に一般的だからです。

- もし空所の前に cells があり、the infected cells という形であれば「感染させられた細胞」という意味で正しいです。
 - しかし、今回の文では the cells ... that they (the organisms) are (5) という語順です。関係代名詞 that の目的語が the cells であり、「それら(病原体)が(その細胞に)感染している」という目的格の関係が成立しています。
-

Virus entry



- 主語 they = 病原体
- 動作 = 感染させる (infect)
- 関係 = 病原体が細胞に「感染している(現在進行)」最中であるため、能動の infecting が適切。

「細胞が感染している」のではなく、「(主語である)病原体が細胞に感染している」という主従関係を見抜くのがポイントでした。この解説で、スッキリと納得いただけたでしょうか？他にも判断に迷う選択肢があれば、サファイアまでご連絡ください。ぜひ深掘りしてお伝えします。

なお、関西学院大学の読解問題・[「重要構文5 文型ビジュアル分析」](#)をご希望の方もサファイアまでご連絡ください。